

	分類	具体的な取組みの例
<p>I 地域の 連帯力をつくる ために</p>	<p>1 社会参画意識の醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の活動に地域全体で参加できるような内容を考える。 ・地域行事（それに伴う会議等）をカレンダーに掲載し、全世帯に配付する。 ・異年齢及び世代間の交流、シニア世代の持つ知識や技能、経験等を活かす場の提供をする。 ・住民ニーズと社会の要請を考慮した事業を計画し、多くの住民が参画できる事業を提案する。 ・実行委員会形式を各部会形式に変更して事業内容を提案、参画意識の向上を進める。 ・校区の特性を知る地域づくりの研修会やワークショップを行い参画意識を高める。 ・各種団体や個人が行っている現在の活動の価値づけをする。 ・リーダーになってくれそうな人やグループに対して市民講座などの学習情報を常に知らせ、責任感を持てるような役も与える。発表の場などを設ける。 ・公民館に行くきっかけづくりとして、ダイレクトメールやE-mailなどにより案内する。（対象者を絞り込む） ・SNSの活用。例えばフェイスブックなどをとおして、事業等の募集を行う。「いいね」が多いものを開催してみる。
	<p>II 地域の 教育力を高める ために</p>	<p>1 子どもへのまなざし運動の推進</p>
<p>2 地域ぐるみでの子ども・若者育成の推進</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもの認識が深まるように、公民館での通学合宿や地域子ども教室は続けていき、それに関わる地域の大人を増やしていく。 ・指導者・ボランティアの養成や活動の場の拡充、市民が企画運営する講座や市民講師の活用を積極的に推進する。 ・通学合宿などの機会にリーダー育成を考えながら行ってみる。 ・地域行事など決まった企画に準備の段階から参画してもらい、担い手として役割を作る。 ・子ども講座の中にジュニアリーダー研修などを行う。 ・子どもは世話をされる側で無く、世話をする役を与える。 ・住民の経験や知識に基づいた役割分担を行い、効果的に推進する基礎的な講座の開催。 ・学校との連携により、総合的な学習で地域の人と一緒に地域の歴史や文化、産業等を学ぶ事業を企画する。 ・体験活動を行った場合には、活動を振り返るワークシートを書いてもらう。 ・特に子ども対象の講座は目的、参画性、継続性を位置づけ関わる大人を増やしていく。 ・父親と子どもの野外活動を行い父親の役割や出番を作る。 ・夏休みなどの幼稚園・学校の休暇中の居場所づくりを行う。

	分類	具体的な取組みの例
II 地域の教育力を高めるために	3 家庭教育への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級を開催し、親の意識を変える学習機会をつくる。 ・子育てサークルが地域活動の入り口だということを認識して対応する。 ・子育てサークルは支援者と保護者との協働で作り上げるよう働きかけをする。 ・小グループ単位での取組みを行う。 ・親子で楽しめる講座を設ける。（子育ての先輩が関わる場があればなお良い。） ・親子屋外キャンプなどを計画し、その機会に親に家庭教育のことを意識させる。 ・子どもの調理体験や栽培活動、食農教育を行い家族の中で役割を持てるような事業を企画する。 ・「市民活動団体ガイドブック」等を活用し住民からの相談を必要に応じて専門機関につなげる。 ・一元化された情報のうち、同じような趣旨で開催されるイベントや講座等をピックアップし共催や連携を促すことで各団体の力を伸ばす。
	4 地域づくり・人づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとについて学ぶ取組み（さが学、歴史探訪会など）を実施する。 ・主催事業で多くの人の出番や役割を作る。 ・地域にある貴重な歴史・文化などを調査してみる。 ・この指とまれ！方式で呼びかける。 ・全般的にボランティア養成講座を設置し、講座修了者が地域で活動できるような場を設ける。 ・シニア世代にひと押しして出番を設ける。 ・総合学習の支援等で住民が相互に学びあう活動を提案しその中で教育力を高める。 ・主催講座に企画段階から関わってもらい、参加者の主体的な取組みを作り出す。 ・将来の地域を担う現役世代（PTA等）を本人が可能な範囲で地域活動に誘う。 ・公民館利用者に対して公民館、社会教育の意味を学習する機会を作る。 ・学習を通して自分たちの活動を見直したり広げてもらうような働きかけをする。 ・自治会を含め校区連携協議会（各種団体）と一緒に考える場を設ける。

	分類	具体的な取組みの例
<p style="text-align: center;">Ⅲ 地域の課題解決力を高めるために</p>	<p style="text-align: center;">1 現代的課題に関する学習の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での各種組織づくりについて関連部署と連携しての相談を行う。 ・ 地域各種団体への継続的な運営の学習機会、講習会の提供を行う。 ・ 三世代交流事業を行う。 ・ 幼児と子ども、幼児子どもと高齢者のふれ合いの場の設定を行う。 ・ 介護教室の開催や独居老人、高齢者への気遣いを学べるような講座を開催する。 ・ 老人の閉じこもり防止となるように、公民館へ来館できる物理的環境の整備を行う。 ・ 地域に合った防災対策の出前講座を企画し、住民主体の防災力向上の必要性に取り組む。 ・ 地域課題を考えるセミナーの開催（自分たちの地域の現状を知り、課題を探る場の提供。） ・ 地域でのPTA、老人会、青少年育成、婦人部、体育協会等の課題解決に向けての支援を行う。 ・ 公民館が地域の課題解決に率先して取組む姿勢、サポート体制がづくりを行う。 ・ 重要なテーマ等については強化月間等を設け、各地域共同で有名な講師を招いた上、インターネットで中継して各公民館同時に研修会を開催する。 ・ ご近所にある空き家を利用して居場所づくりをする際のコーディネートを行う。（公民館まで行くより、近くの集会施設の創出）
	<p style="text-align: center;">2 子ども・若者問題対策、非行対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見守る大人を募る。 ・ 地域の中で役割を持って活動する経験をする。その役割が社会貢献につながることを知る。 ・ 地域の人と一緒に調理や栽培活動を行い循環する取り組みを経験する。 ・ 各種関連NPOの活動に、地域を限定せずに参加してもらいなどまずは居場所作りから行う。 ・ 高齢化が進行すると専門機関へ足を運ぶことが困難な相談者も増加することが想定されるため、公民館内にパソコンを活用した相談ブース等を設置し専門機関とのオンライン相談の中継点とする。
<p style="text-align: center;">Ⅳ 地域へ高めるための情報発信力を</p>	<p style="text-align: center;">1 社会教育活動の啓発、情報提供の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域人材バンクの整備を行う。 ・ 地域の人材発掘活用を行う。 ・ 地域で活動していて困っていることや、どんな情報が求められているのかなど調べてみる。 ・ 公民館の利用者との懇談会を行う、また、アンケートを取ってみる。 ・ 地域での良い取組み等の情報交換をする。（地域内の各種団体、公民館相互） ・ 子どもや親への案内については、自治会を通したほうが、広く周知できる。